

(様式第1号)

指定管理者制度導入施設の管理運営状況【令和 7 年度】

※1～6, 9:施設所管課記入, 7:指定管理者記入, 8:指定管理者及び施設所管課記入

指 定 管 理 者 名	特定非営利活動法人オープンハート・あったか
施 設 所 管 課	岩出山総合支所 市民福祉課

1. 施設名

施設名	大崎市感覚ミュージアム	施 設 の 住 所	宮城県大崎市岩出山字下川原町100番地
		電 話 番 号	0229－72－5588

2. 施設の概要

設 置 年 月 日	平成12年8月4日	設置条例等	大崎市感覚ミュージアム条例・同規則
設 置 目 的	人間の持つ五感(視覚、聴覚、嗅覚、味覚、触覚)を心身双方に刺激し、人間本来の豊かな感性を回復し、もって市民の文化及び福祉の向上に資する。		
施 設 の 内 容	感覚体験ゾーン(ダイアログゾーン、スペースアンドサウンド、サークル・ン・サークル、闇の森、香りの森、ハートドーム、ウォーターガーデンなど)		
利 用 料 金	一 般(個人)800円, (団体)720円, (回数券)5,300円, (年間パス券)2,000円 高校生(個人)400円, (団体)360円, (回数券)2,600円, (年間パス券)1,000円 中学生(個人)350円, (団体)320円, (回数券)2,300円, (年間パス券)800円 小学生(個人)300円, (団体)270円, (回数券)1,900円, (年間パス券)700円 外 創作施設使用料 有り		
休 館 日 , 開 館 時 間	休 館 日 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日)及び12月29日～1月3日 開館時間 午前9時30分～午後5時 但し創作施設は午後9時まで		

3. これまでの管理運営 #

期 間		管 理 形 態		管理受託者又は指定管理者等
平成 12 年度～平成 17 年度		1.直営・2.管理受託・3.指定管理・4.その他	2	特定非営利活動法人 オープンハート・あったか
平成 18 年度～平成 22 年度		1.直営・2.管理受託・3.指定管理・4.その他	2	特定非営利活動法人 オープンハート・あったか
平成 23 年度～ 27 年度		1.直営・2.管理受託・3.指定管理・4.その他	3	特定非営利活動法人 オープンハート・あったか

4. 現指定管理者の指定期間

指定期間	平成28年4月1日 ～ 令和8年3月31日 (10 年 0 ヶ月)		
選定方法	1	1.公募 (応募者数: 団体)	②非公募

5. 指定管理料

令和 7 年度(ア)	令和 6 年度(イ)	(ア) - (イ)
25,500 千円	25,500 千円	0 千円

※(ア)は当該年度, (イ)は前年度とし, それぞれ決算額ベース。

6. 指定管理者が行う管理運営業務の内容

Ⅰ. 感覚ミュージアムの施設、設備及び器具(以下「施設等」という。)及び作品の維持管理に関すること	
①施設等の警備	
②施設等の清掃(施設内清掃、敷地内清掃、除草・植木剪定等)	
③施設等の保守点検(展示・体験に係る施設等、昇降機、空調設備、自動制御装置、消防設備等)	
④施設等の軽微な補修(展示・体験に係る一体的に建築された構築物及び躯体の補修等の資産価値の向上又は耐用年数の延長につながるものを除く。)	
⑤施設等に係る経費	
Ⅱ. 感覚ミュージアムの施設の利用の許可に関すること	
①許可申請の受付及び許可書の交付(入館券の発行、収受により許可申請の受付及び許可書の交付を行ったものとみなすことができる)	
②各種届出書の受付	
③利用料金の徴収、減額、免除及び還付	
④利用者の応接	
Ⅲ. 感覚ミュージアムの利用の促進に関すること	
①広報事業の実施	
②イベント等の誘致	
Ⅳ. 感覚ミュージアムの設置目的に適合する自主事業の企画及び実施に関すること	
①展示演出施設、創作施設及び広場を活用した展示・体験イベントの企画及び実施	
②施設における特別な展示及び体験イベントの企画及び実施	
③岩出山地域街区、構造物等を活用した展示及び体験イベントの企画及び実施	
④普及事業の企画及び実施(例:ワークショップ事業)	
⑤その他自主事業の企画及び実施	
Ⅴ. その他感覚ミュージアムの管理運営	
①管理運営業務の処理に必要な体制の整備	
②情報の公開及び個人情報の保護に関する措置	
③著作権の保護に関する措置	
④防犯対策、防災対策等の利用者の安全の確保に関する措置	
⑤事業報告書の作成及び提出	
⑥経営状況を説明する書類の作成及び提出	
⑦大崎市が指示する書類、資料等の作成及び提出	
⑧施設、設備、器具及び作品の著作権所有者との連携協力体制の確立	
⑨関係諸団体との連携協力体制の確立	
⑩「あったか村」の連携事業への協力	
⑪その他管理業務に関する庶務、経理等の事務	

7. 利用実績等

(1)利用者数

(単位:人, 件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
令和 6 年度	2,509	4,397	2,753	3,942	9,208	5,116	27,925
令和 7 年度	3,371	6,059	3,340	4,008	8,933	4,073	29,784

(単位:人, 件)

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	総計
令和 6 年度	4,041	5,025	2,260	2,395	3,419	4,739	21,879	49,804
令和 7 年度	3,818	4,053	1,890	1,968	2,799	4,265	18,793	48,577
主な増減要因	令和7年度感覚ミュージアム入館者数の推移について 令和7年度の入館者数は、前年度比約3パーセント減(約1,200人減)の48,577人となりました。 1. 減少の要因について 前年度と比較して微減となった主な要因は、以下のとおりです。 メディア特需の反動:令和6年度に実施されたテレビ番組での全国放映による大きな集客効果の反動を受けたこと。 施設整備の影響:調光設備及びプロジェクターの更新に伴い、年度末に一定期間の開館縮小(無料ゾーンのみ開館等)を行ったこと。 2. 中長期的な視点での評価 令和7年度の数字は、令和5年度(42,546人)との比較で、約6,000人の増加となっております。 令和6年度に実施した入館料改定の影響が薄れた令和7年度の4月から7月にかけては、前年度を上回る入館者数を記録しており、施設の集客力は着実に回復・向上しております。							

(2)利用料金収入

(単位:千円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
令和 6 年度	1,484	2,641	1,632	2,265	5,296	2,992	16,310
令和 7 年度	2,013	3,767	2,011	2,335	5,117	2,508	17,751

(単位:千円)

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	総計
令和 6 年度	2,589	3,136	1,387	1,378	1,984	2,673	13,147	29,457
令和 7 年度	2,412	2,516	1,114	1,176	1,557	2,536	11,311	29,062
主な増減要因	利用料金収入は利用者数と連動するので、増減の要因については、(1)利用者数を参照してください。							

(3)サービス向上や利用者数の増加等のために実施した主な取り組み

○企画事業の開催 ・25周年記念事業を実施しました。 ・イベントや外部の講師を招くワークショップを行いました。 ・職員が講師を務めたワークショップを行いました。 ・他団体と連携した企画を行いました。 ○ウェブサイト等による情報発信 ・ウェブサイト、SNS(X、Instagram)で情報を発信し、ミュージアム来館や企画事業の参加につなげました。 ○写真撮影の解禁(全館) ・香りの森・ハートドームエリアは撮影不可でしたが、香りの森 紙縫り作品のリニューアルが完了し、作家の同意が得られましたので、3月より全館で撮影を解禁しました。 ○入館料の減免 ・大崎市内小中学校校外学習等の学校行事、PTA行事利用に対する入館料減免を行いました。 ・大崎ゆめっこバスポート提示者に入館料減免を行いました。 ○アンケートの実施 ・館内にアンケート用紙を設置し、施設利用者の感想・意見を収集しました。

(4)施設利用者の主な声やその対応状況 (※原文のとおり掲載)

施設・展示作品について ○7～8年前に以前デートで来て、今日はその人(夫)と子供×2で来ました。子供が1000の小箱を気に入りました。(県内からお越しのお客様) ○写真撮影禁止の場所で、写真を撮りたいと感じちゃったので気おくに残るくらい、何度も来たいと思います。ありがとうございます。(県内からお越しのお客様) ○小さい頃からの世話になってますが、子供の頃と違う感じ方ができて、来るのがたのしい。(県内からお越しのお客様) ○もって作品数があつたら良いと思った。入場料の割にあつという間に終わってしまった気持ち。(秋田県からお越しのお客様) ○とても良い施設と思うが採算はどうか 続けて運営をしてほしいです(兵庫県からお越しのお客様) ○小さい子どもとはわけて入りたかった。(東京都からお越しのお客様) →今後も感覚ミュージアムを心の憩いの場としていただけるように努力いたします。 接客対応について ○スタッフの丁寧な対応が素晴らしかったです。非日常を体験することができ、十分に楽しむことができました。(神奈川県からお越しのお客様) ○VIPと思えるような対応(大阪府からお越しのお客様) ○スタッフさん全員やさしく説明わかりやすかったです。たのしめました！(福島県からお越しのお客様) ○ハートドームのスタッフさん非常にキツイ言い方で子供に接しており不快でした。大なしです(県内からお越しのお客様) ○もう少しどうゆうやつかくわしくおしえてほしかった(市内からお越しのお客様) ○館内の歩き方がわからないので、どういった風に感じとれたら良いか説明いただくまでわからないので、教えてもらえるともっと充実した時間をすごせたと思います。来て良かったです。(県内からお越しのお客様) →五感を研ぎ澄ませて作品を感じとって頂けるよう、臨機応変に対応し、ご満足いただけるように、更なる努力をいたします。 その他 ○電車時間調整のためのコーヒーなどのめる所あれば・・・(県内からお越しのお客様) ○楽しかったです。何か感覚ミュージアムを元にしたスイーツを売ってほしいです。(アイスとか)(県内からお越しのお客様) →採算とサービス向上の両立がとても難しく、今後も受託者と検討していきます。
--

(5)施設の管理運営における課題

○「五感」を刺激する体験型施設において、芸術性や作者の意図と、施設としてのアクセシビリティ(安全性・利用のしやすさ)を両立させることは非常に重要な課題ですので、突き詰めていくことが必要かと思います。 ○お客様が道中迷わないよう導けるようにすることが必要かと思われます。(例 あ・ら・伊達な道の駅、有備館等他の施設からのアクセス、高速を降りてからのアクセスなど) ○創作施設の利用を促進するためにも、貸出基準、付属設備の料金体系等の検討が必要かと思われます。

8. 管理運営状況

評 価 項 目	評 価 基 準	自己評価	所管評価
1 施設全般の管理運営に関する業務			
(1)人員配置	管理運営に必要な人員及び有資格者を配置している。	△	△
(2)職員研修	業務に必要な職員研修や教育等を適切に行っている。	○	○
(3)管理記録	各種の管理記録(業務日誌等)を適切に整備、保管している。	○	○
(4)安全管理	日常の安全管理や緊急時のマニュアル整備等の体制を整備している。	○	○
(5)清掃・維持管理	施設、設備等の保守点検や維持管理等を適切に行っている。	○	○
(6)施設等の修繕	施設や備品等の修繕を適切に行っている。	◎	◎

2 利用者に関する業務

(1)利用状況	事業計画書等に基づく利用者数や施設の稼働率がある。	○	○
(2)利用料金	利用料金の設定、徴収、減免、還付等の手続きを適切に行っている。	◎	◎
(3)利用者満足度	利用者ニーズの把握に向けた取り組みを行っている。	○	○

3 事業の実施

(1)指定事業	仕様書、事業計画書に基づく事業を実施している。	◎	◎
(2)自主事業	施設の設置目的に沿った自主事業を実施している。	○	○

4 個人情報の取扱い

(1)個人情報の保護	協定書等に基づき適切に個人情報を取り扱っている。	○	○
------------	--------------------------	---	---

5 管理運営業務の収支等

(1)収支状況	事業計画書等に基づく妥当な事業収支である。	◎	◎
(2)効率的な運営	経費の節減や利用料金収入の向上に向けた取組みを行っている。	○	○
(3)経理事務	専用口座、諸帳簿等を備え、適切な経理事務を行っている。	○	○

評 価		評 価 の 考 え 方
◎	(優 良)	協定書や事業計画書等より優れた内容で管理運営を行った。
○	(良 好)	協定書や事業計画書等に基づき適正な管理運営を行った。
△	(課題有)	協定書や事業計画書等を下回る内容であり、一部の業務に改善が必要である。
×	(改善要)	協定書や事業計画書等に基づく管理運営が行われなかったため改善を要する。

※ 該当しない項目については、「－」を記入してください。

9 施設所管課の総合評価

当施設は、子どもから高齢者まで、世代を問わずあらゆる体験を通じて五感を刺激する機会を提供しており、利用者が日常の喧噪から解放されリフレッシュできる場として高く評価されている。 令和7年度は、開館25周年記念事業を実施し、地域住民や学生等と連携した商店街の活性化にも取り組んだことで、地域との絆がより一層強固なものとなった。 また、利用状況については、令和7年度の利用者数が令和5年度(42,546人)と比較して約6,000人増加しており、4月から7月の期間も前年度を上回る推移を見せるなど施設の集客力は着実に向上している。 今後も、定期的な懇談会を通じた情報共有を継続するとともに、利用者アンケート等から抽出される課題に対し、指定管理者において引き続き事業の改善・向上に向けた積極的な取組を行われることを期待する。
